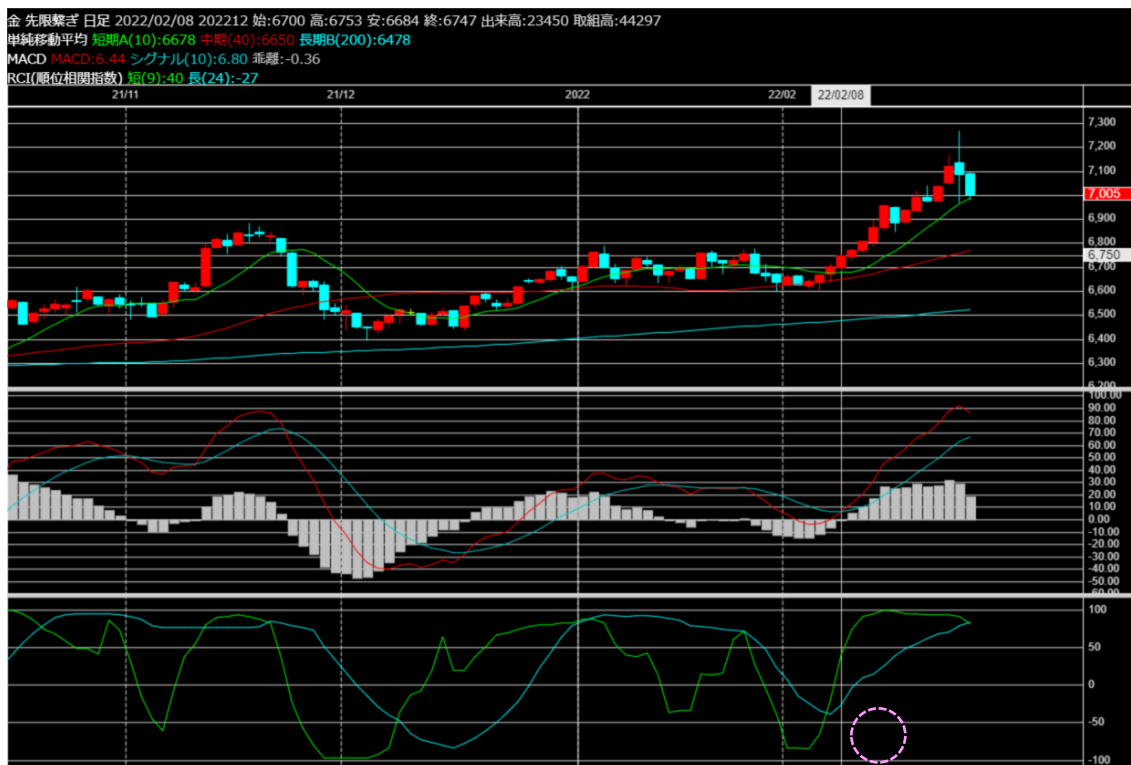


<金標準先物、ロシア中銀ルーブル防衛のため金売却・・・>



(出所：オアシス)

ロシア・プーチン大統領はウクライナ東部の親ロシア派が実効支配する 2 州の独立国から軍事支援を受けた事から 24 日にウクライナに侵攻を開始、そのため米国や EU、英国、日本など西側諸国は対ロシア経済制裁措置を発表している。

特にロシア侵攻で、先進 7 カ国の経済・金融制裁を受けたロシア株は大幅下落、ルーブルも一時 90 ルーブルに迫る過去最安値を付けている。

また週末に欧米はロシア中央銀行の金融取引を大幅に制限することで合意しており、約 6300 億ドル（約 72 兆円）の外貨準備高に対する制限を掛けロシアが外貨準備高を自由に使用できないようにして、通貨ルーブルの下落を下支えできないようにする処置を行って来る。

特に通常は外貨準備高の構成はドル、ユーロ、元、円に金の保有が一般的であり、ロシア中銀がインフレ抑制のため為替市場に介入する場合は、金の保有を売却する方法しかなくなる事からも今後、金価格は高値が抑制される可能性が高くなると予想される。

そのため 25 日の 7269 円の高値が目先の高値になると予想され、6800 円に向けた下値追いに注意したい。

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** が下げだし、**シグナル**は上昇するなど、ヒストグラムの乖離が縮小している。また RCI では**短期**が下げだし、**長期**を下回るなど弱気のサインを示している。また日足が **10 日移動平均線**を下回る確率が高まりを見せている事も下値模索の動きに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 392,500 円(2022 年 2 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 2 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>